

札幌

大学

動物學部

八田先生

台原



致

九

移月夜名湖堂

信如

蘇

祥照の仁徳 秋終し佳
美しき法にこそとる人をも大

聖徳陳若 秋事より其
六の端に 本月十日の東京

月六日の命に 執事の中

の座に 秋の息災をいふ

母事重恵をて可父の一寸忌

と申すゆかし 心痛し 小原

をいふ大いし法要を信し

石碑を建て 秋の修験

を了し 座をいふをいふ

一 局中も 法勅維日も是

と申す 秋の修験

司法はドットせめて 調査と

事は不実 面目を許さず

面白くも 毛ツト 擡げ出す

本心一公 國家の為め

を了しし度なりと云ふこと
一 南中も活動維日も是
とぞ 尚京院

司法はドットせぬも 調査と
事は不共而日を証す
面白くもモット 擧げ出

来れ一 國家の為なり

くあり 目六くく 序の好便
その 烟の如き一 心はし

く不 少 法 以 設 多 以 長
り 来 折 糸 目 書 中 之

く 有 佐 助 也

九月二十日 三 信 田
年 川

八田 先生
玉 九 二

方 改 之 由 森 園 書 札 八 田 男 書
即 之 信 也